

NGO 相談員出張サービス実施報告書

1. 企画名：講演会 中高生向け国際協力講座「ユースプログラム」
2. 実施者：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
3. 日時：2016年9月3日（土）10:00-16:00
4. 場所：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務所（東京都中野区本町）
5. 参加者：中学生、高校生合計12名、教員3名、保護者1名
6. 実施報告：

中高生向け国際協力講座「ユースプログラム」は、中高生を対象に開発途上国の様々な問題をテーマに、途上国の子どもたちの置かれている現状について理解を深めてもらうプログラムであるが、今回は平和（紛争・難民）をテーマに行なった。具体的には、まずレクチャーによってルワンダのジェノサイドの歴史や被害者と加害者の現状、平和再構築プロジェクトについて紹介した。引き続きグループに分かれて、被害者と加害者それぞれのケースストーリーをカードで読み、相手のためにできることや「赦す」ために必要な行動等についてディスカッションを行い、参加者自身が主体的に考え理解を深める機会とした。後半はシリア難民の子どもたちの現状やヨルダンの難民キャンプにおける教育支援プログラムについてレクチャーを行い、グループに分かれてシリア難民の子どもたちやヨルダン人などの役割カードに基づくロールプレイを行い、「難民問題の解決」についてディスカッションを行った。最後にヨルダンに駐在するNGOスタッフとスカイプを通して現場の様子についての説明や質疑応答の時間を設けた。

また、ポスターやチラシを準備したNGO相談員のコーナーを設け、昼食時や休憩時間、イベントの前後などに国際協力やNGO活動などについての質問などに対応した。中学生からボランティア活動に参加したいという希望が2件寄せられた。また、NGOで働くことについてスタッフから話を直接聞ける機会がないか等の質問も寄せられた。

7. 所感：

参加申込に対して当日の出席率が低く残念だったが、参加者一人ひとりの意識が大変高く、意義深いディスカッションを行うことができた。スカイプ中継では16件の質問が寄せられ現場の生の声を届けることの重要性を感じた。「平和」というテーマは教育機関での出張サービスでも提案をしていきたいテーマであると感じられた。

8. 別添（写真）



ディスカッションの結果発表。 ロールプレイ。 ヨルダン駐在スタッフとスカイプ中継。